

下水道利用の注意点



下水道には何を流してもいいの？



A. 下水道は何でも流せるわけではありません!!

油やごみを流せば下水道がつまる原因となります。また、ガソリン、シンナーなどの危険物も流さないでください。

下水道施設は、下水道管、ポンプ場、下水道処理場で構成されていて、長い年月とたくさんのお金をかけてできました。これらの施設は一刻も休むことなく働き続けていますが、油やごみが下水道管につまると、事故や故障などを起こすこともあります。下水道が、いつでも自然にやさしく、皆さんの生活を快適に保てるように、下水道を正しく使い、十分ないたわりをお願いします。



なるほど!
ザ・下水道

目に見えない微生物が大活躍!!

下水処理場に送られてきた汚水をきれいになっているのは、実は、肉眼で見えないバクテリア(細菌)や原生動物などです。これらの微小な生物が、汚れた水に溶けている有機物を食べることで、汚水は分解・浄化され、きれいな水になります。



⚠️ **気をつけてください!**

下水管のつまり・故障・事故の原因となります。

野菜や残飯



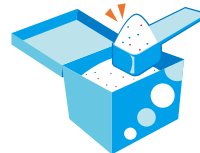
燃やすごみとして出すか、コンポスト(生ごみ処理器)でたい肥にしましょう。

使えなくなった油



下水管をつまらせたり、処理場の動きに悪い影響を与えます。ペットボトルに入れて回収に出すか、新聞紙・ぼろ布・油処理袋などにしみこませて、燃やすごみに出しましょう。

合成洗剤



大量の合成洗剤は、泡立ちのもとになったり、処理場の動きを低下させたりして、完全には処理されません。洗剤は適量を使用しましょう。

水に溶けない紙など



ティッシュペーパー・紙おむつ・タバコ・ガム・髪の毛などは、つまりの原因になります。水洗トイレには必ずトイレペーパーを使いましょう。

有害・有毒・危険物

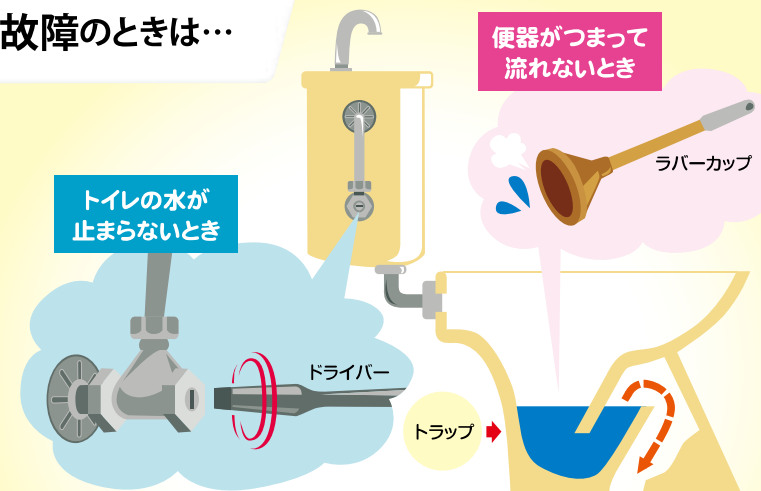


土砂・セメント・木片・廃油などの廃棄物を流すと、下水管がつまって下水があふれてしまいます。マンホールや汚水ます、側溝には有害・有毒・危険物を捨てないでください。

事業者の方へ

ラード等の油脂類は、下水管の中で固まりやすかつまりの原因となります。皆様のご迷惑となりますのでグリーストラップを常に清掃してください。

故障のときは…



トイレの水が止まらないとき

便器がつまって流れないとき

ラバーカップ

トラップ

トイレ使用後に水が止まらなかったり、便器にいつもちょろちょろと水が流れている場合は、タンク給水管についている「止水せん」をドライバーで閉めて水を止めてください。次にタンク内の鎖・フロート弁などを調べ、修理が必要なら指定工事に依頼してください。

便器がつまって流れないときは、排水の穴を全部ふさぐようにラバーカップを押しつけ、勢いよく手前に引きます。軽度のつまりなら簡単なので、備えておくとう便利です。トイレペーパーの使いすぎで、つまることがありますので注意しましょう。

皆さんが設置した排水設備が故障したときは、施工した指定工事店または専門業者・専門店に連絡してください。

ディスポーザを使用する場合は

生ごみを粉砕細かくして排水口に流す機器(ディスポーザ)は、「ディスポーザ排水処理システム性能基準(案)(公益社団法人 日本下水道協会策定)」に適合しているものしかご使用になれません。

※ディスポーザを設置する場合は「新潟市指定排水設備工事店」に依頼してください。